

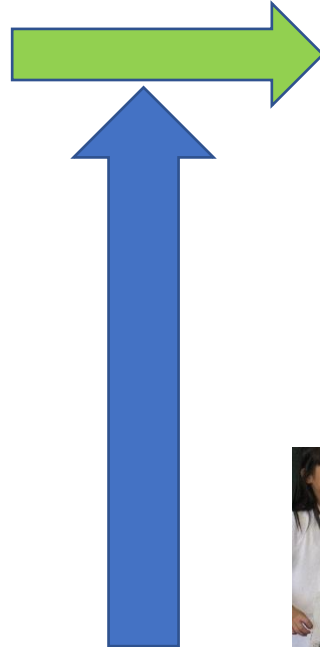
子どもアイデアコンテストによるAの変容



- ・穏やかな性格
- ・いつもニコニコ誰とでもなかよくできる
- ・誰かにいじわるをされても気にしない
- ・おとなしい性格
- ・自分から積極的に発言することは少ない
- ・目が合うと、恥ずかしそうな笑顔になる
- ・困ったり、不安になったりすると泣いてしまう



子アイコンへの応募と発表準備・最終審査



自信

- ・自信のある声で、積極的に発言するようになった。
- ・全校で行う人権集会の呼びかけを言うことを志願し、やり遂げた。
- ・困ったときにも、自分で考え行動するようになった。

関わり

- ・自分から進んで友だちや教師と関わるようになった。
- ・体育の時間、足の振り方や回るタイミングなど、鉄棒の技のコツを友だちに教えるようになった。

考える

- ・算数の時間、自分の言葉で考え方をわかりやすく説明できるようになった。

努力

- ・鉄棒の技がもっと上手になるように練習を重ねた。

楽しむ

- ・毎日の生活で、楽しいことを考えるようになった。



- ・「くすのきのなかに遊園地があるといいな。」というアイデアが、他の二人に認められる。
- ・3人で話し合いながら、遊園地の設計図をかき上げた。
- ・男子一人でも、恥ずかしがったりすることなく、楽しんで活動した。
- ・最終審査に残り、クラスの友達に認められる。
- ・アイデアをほかの二人に認められ、チームのリーダーになる。

- ・休み時間を全部作品作りにつかった。
- ・アイデアが浮かばなかったり、思ったように動かなかったりと何度もやり直した。
- ・表現を詳しくするために、国語で学習した修飾語を使うことを考えた。
- ・家庭に持ち帰ったり、放課後に残ったりして一生懸命準備した。

- ・自分の思いを書き出し、3人で相談して原稿を作り、役割分担をした。
- ・実物を操作するタイミングや声の大きさ・抑揚、目線、話す速さなど何度も練習を重ねた。
- ・茂木健一郎さんにアイデアをほめてもらった。



クラスの友達との関わり

家族との関わり

学校（教師）との関わり

最終審査会との関わり